

北九州エコマンスにおける国際会議・フォーラム

北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野)

平成 25 年 10 月 18 日~21 日

International Conferences / Forums
during the
Kitakyushu Eco Month

Kitakyushu International
Conference Center
Kitakyushu,
JAPAN
18th-20th
October 2013



会議・フォーラムへ参加される方は、事前申込が必要です

会議のホームページ等をご覧ください。

会議・フォーラムに関する問合せ・連絡先
会議事務局(北九州国際会議場 1 階)

プログラム

10月16日(水)～10月18日(金) 10:00～17:00
エコテクノ(場所:西日本総合展示場/北九州国際会議場隣)
10月18日(金)～20日(日) 10:00～18:00
展示(主催:内閣官房、北九州市)北九州国際会議場・イベントホール 環境未来都市、北九州市の環境政策・エコプロダクツ・物産等の展示、説明
10月19日(土)～10月20日(日)
エコライフステージ(場所:北九州市役所周辺)
10月18日(金)
15:00～17:00 北九州国際会議場 2階・国際会議室
OECDグリーンシティプログラム北九州レポート発表記念会議: A1 主催:北九州市、共催:OECD
18:30(招待者) 妙見山荘
グリーンシティ歓迎レセプション 主催:OECD 北九州チーム
19:00(招待者) リーガロイヤルホテル
環境未来都市国際フォーラム・歓迎レセプション 主催:内閣府・内閣官房、環境未来都市構想推進協議会
10月19日(土)(事前申込済み)
10:00～18:00 北九州国際会議場 1階・メインホール
第3回「環境未来都市構想」推進国際フォーラム: A2 主催:内閣府・内閣官房、環境未来都市構想推進協議会
14:00～16:50 北九州国際会議場・32会議室
エコ・ASEAN 産業政策セミナー: A3
18:30(招待者) 国際会議場
「都市づくりの将来に関する国際会議」歓迎レセプション 主催:北九州市、外務省
10月20日(日)(事前申込済み)
10:00～12:30 北九州国際会議場・メインホール
持続可能な都市づくり ～2015年より先の国際開発目標を見据えて～: A4 主催:外務省
14:00～17:00 北九州国際会議場・メインホール
東南アジアにおけるエコ・シティの推進:A5 主催:UNIDO
13:30～17:00 北九州国際会議場・国際会議室
首長フォーラム～躍動するアジア都市のグリーン成長: A6 主催:OECD 共同議長:UNCRD、北九州市
17:15～17:30、メインホール
総括メッセージ/3日間の会議
13:00、西日本工業大学・小倉キャンパス
アジア太平洋 RCE 地域会議:A7 主催:国連大学高等研究所
10月21日(月)
13:30 北九州国際会議場・メインホール
～アジア太平洋 RCE 地域会議開催記念～持続可能なライフスタイルに関する国際シンポジウム: A8 (主催:RCE 北九州(北九州 ESD 協議会、北九州市))
10月21日(月) 17:30～、国際会議場・イベントホール
アジア太平洋 RCE 地域会議・ファウエル・パーティ 主催:RCE 北九州(北九州 ESD 協議会、北九州市)

A1

OECD グリーンシティプログラム北九州レポート発表記念会議

平成 25 年 10 月 18 日（金）15:00～17:00

北九州国際会議場・国際会議室（定員 80 名）

主催：北九州市、OECD グリーンシティプログラム北九州チーム 共催：OECD

OECD グリーンシティプログラム・北九州レポートの日本語版の発行を機に、記念の会議を開催し、OECD グリーンシティプログラム・北九州レポートの内容を広く国内外に発信し、レポートにおける OECD の政策低提言の北九州市政策への反映、さらには、レポートの普及を通じた世界のグリーン成長の促進を図る。今後、北九州市が市民協働でグリーン成長を推進するスタートとする。

1. 会議プログラム

コーディネーター：鹿毛浩之・地球環境戦略研究機関（IGES）北九州アーバン・センター
所長／九州工業大学副学長

15:00 開会及び挨拶

北橋 健治・北九州市長

15:05 OECD グリーンシティプログラム及び北九州レポート説明

ロルフ・アルター・OECD 公共管理地域開発局長

15:25 北九州レポートに関するコメント

- ・加藤 美佐子・北九州市婦人会連絡協議会会長
- ・福丸 清生・北九州市衛生総連合会会長
- ・伊藤 健二・北九州商工会議所副会頭
- ・竹本 和彦・北九州市顧問（国連大学高等研究所）

15:45 休憩（10 分間）

15:55 海外諸都市等からの経験共有・取組み

- ・国土交通省・
- ・マーガレッタ・ビヨルク・ストックホルム市議会議長（スウェーデン）
- ・カレン・サンド・ミルウォーキー下水道公社（MMSD）課長（米国）

16:10 議論：北九州レポートを踏まえての今後のグリーン成長への取組

16:50 総括

ロルフ・アルター・OECD 公共管理地域開発局長
北橋 健治・北九州市長

17:00 閉会

※17:15～17:450 プレス会議（報道関係者からの質疑応答）

場 所：北九州国際会議場・21 会議室（2 階）

対応者：北九州市長、OECD 局長

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyau/00500003.html>

A2

第3回「環境未来都市構想」推進国際フォーラム

平成 25 年 10 月 19 日 (土) 10:00～18:00

北九州国際会議場・メインホール

主催：内閣官房・内閣府、環境未来都市構想推進協議会

1. フォーラム・プログラム

10:00～10:20 主催者挨拶

内閣官房代表者（調整中）

環境未来都市推進協議会会長(北九州市長) 北橋 健治

10:20～10:40 招待講演 「環境未来都市」構想に期待するもの（仮題）

国連経済社会局 (DESA) 局長 ウ・ホンボー 氏

10:40～10:50 休憩

10:50～12:30 【全体セッション：環境、社会、経済の融合による新しい価値の創出】

コーディネーター：建築環境・省エネルギー機構 理事長 村上 周三 氏

12:30～13:45 昼休憩 ポスターセッション

13:45～15:15 【分科会】

・サステナブルな社会ストックマネジメント- 事業スキームの観点から -

コーディネーター：プライスウォーターハウスクーパース パートナーPPP・
インフラ部門アジア太平洋地区代表 野田 由美子 氏

・ネットワーク社会における環境と健康に優しいまちづくり

コーディネーター：東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 秋山 弘子 氏
名古屋大学 連携大学院教授、国立環境研究所 社会環境システム
研究センター センター長 藤田 壮 氏

15:15～15:30 休憩

15:30～17:00

・歩いて暮らせるまちづくり

コーディネーター：筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授 久野 譜也 氏

・自立的発展に向けた参加型ガバナンスの評価システム

コーディネーター：名古屋大学 連携大学院教授、国立環境研究所 社会環境システム
研究センター センター長 藤田 壮 氏
東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 秋山 弘子 氏

17:00～17:15 休憩

17:15～18:00

【総括】

プライスウォーターハウスクーパース パートナーPPP・インフラ部門アジア太平洋地区代表 野田 由美子 氏
東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 秋山 弘子 氏
名古屋大学 連携大学院教授、国立環境研究所 社会環境システム研究センター センター長 藤田 壮 氏
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授 久野 譜也 氏

【全体総括】

建築環境・省エネルギー機構 理事長 村上 周三 氏

http://futurecity.rro.go.jp/event/international_forum_03/

A3

エコ・メコン産業政策セミナー

～アジアを代表する環境配慮型産業都市から発信～

平成 25 年 10 月 19 日（土）14:00～16:50

北九州国際会議場・32 会議室（定員 50 名）

主催：日 ASEAN 経済産業協力委員会、共催：北九州市

中国プラスワンの動きの中で、第二の産業拠点として、メコン地域の経済が急速に発展している。タイを中心とするメコン地域では工場の集積が進み、それに伴って住民の環境保全への意識が高まっている。

そこで、メコン地域における環境と経済の両立についての理解を深めることを目的として、日アセアン経済大臣会合で設置され日メコン経済大臣会合を主催する日アセアン経済産業協力委員会事務局と北九州市が協力して、タイ政府高官や有識者による「エコ・メコン産業政策セミナー」を開催する。

1. プログラム

14:00～14:10 主催者挨拶

14:10～14:35 基調講演 『タイにおける経済と環境の両立』

アーコム・トゥームピッタヤーパイシット氏 タイ国家経済社会開発委員会長官

14:35～14:50 講演 1 『メコン地域の産業政策』

松島大輔氏 タイ国経済社会開発委員会 政策顧問

14:50～15:05 講演 2 『メコン開発ロードマップ』

吉岡正嗣氏 日アセアン経済産業協力委員会 代表

15:05～15:20 講演 3 『グリーンシティ輸出のための北九州モデル』

石田謙悟氏 北九州市環境局アジア低炭素化センター担当部長

15:40～16:40 パネルディスカッション 『環境と産業を考えよう』

パネリスト：講演者ほか

16:40～16:50 閉会挨拶

吉岡正嗣氏 日アセアン経済産業協力委員会 代表

大上二三男氏 北九州市環境局参与

<http://www.asiangreencamp.net/topix.php?p=77&enc=>

A4

持続可能な都市づくり ～2015年より先の国際開発目標を見据えて～

平成25年10月20日(日) 10:00～12:30
北九州国際会議場・メインホール(定員300名)
主催:外務省

現在、国連をはじめ国際社会は2015年に新しい国際的な開発目標を定めるべく、様々な準備を行っています。この会議では、環境に配慮したまちづくりを進めてきた北九州市の市制50周年の機会に、国連の中で「都市づくり」を進める諸機関の長ほかを招いて議論を行い、持続可能な都市づくりの重要性について北九州から国際社会に対して力強いメッセージを発信します。

前半:持続可能な都市づくり～現状と課題～

2015年以降の国際開発目標を担当する国連事務局の長、持続可能な都市づくりに取り組む国連機関や自治体のパネリストから、今、持続可能な都市づくりにつき国際的にどのような議論が進んでいるのか、問題となっていることは何か、等につき紹介します。

後半:パネルディスカッション

上記紹介を踏まえてパネルディスカッションを行い、「都市」のあり方が、世界の持続可能な開発のためにどんな重要性を持つのかにつき意見交換します。また、持続可能な都市づくりを日本から途上国を含む世界各国に広げていくため、今何が必要とされているのかについて方向性を見いだすべく議論します。

パネリスト

ウ・ホンバオ 国連経済社会局長

ジョアン・クロス 国連HABITAT事務局長

シュレンドラ・シュレスタ 国連環境計画国際環境技術センター(UNEP/IETC)所長

北橋 健治 北九州市長 ほか

モデレーター

香川 剛廣 外務省地球規模課題審議官

http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/page24_000098.html

外務省セッション終了後、北九州国際会議場3階32会議室にて国連環境計画国際環境技術センター(UNEP/IETC)がサイドイベント「未来都市における資源効率化や廃棄物管理」を開催いたします(昼食付き)

A5

東南アジアにおけるエコ・シティの推進

平成 25 年 10 月 20 日（日）14:00～17:00
北九州国際会議場・メインホール（定員 300 名）

主催:UNIDO

国連工業開発機関（UNIDO）は、国連の専門機関の一つであり、途上国の貧困削減や持続的な繁栄を目指して、工業基盤の整備を支援しています。この会議では、東南アジアの主要都市で環境に優しい都市づくり（エコ・シティ）の推進に携わるパネリストを迎えて成功事例や課題等を発表し、日本の環境技術や先進国の取り組みについても紹介して様々なケースから互いに学びあう場とし、持続可能な都市のありかたや都市間ネットワークの促進について活発に議論を行います。

【プログラム】

14:00-14:10 開会挨拶 国連工業開発機関（UNIDO）事務局次長

14:10-14:30 UNIDO のエコ・シティ推進に向けた取り組み:UNIDO プロジェクトマネージャー

UNIDO では、東南アジア地域におけるエコ・シティの推進や知見の共有を目指したネットワークづくりを推進しています。特に、Peer Review という手法を用いて互いの経験や優良事例を検証し、持続可能な都市づくりやエコ・シティ間の対話を促進しています。

14:30-15:00 都市における取組の検証:UNIDO エコ・シティ専門家

都市が抱える課題や優良事例を共有するだけでなく、さらに一歩進んで、互いの取り組みを検証・評価し、深い理解やネットワークづくりを目指します。本会議のパネリストには、後半のセッションにてこうした検証の一環として各都市の事例について発表していただきます。

15:30-16:50 各都市のエコ・シティに向けた先進事例紹介及びパネルディスカッション

東南アジアを代表するエコ・シティの代表者等が、各都市の取り組みや課題について発表を行います。予定都市は、セブ(フィリピン)、イスカンダル開発地域(マレーシア)、マーブタープット工業団地(タイ)、ダナン(ベトナム)、福建省平潭包括パイロット地域(中国)の他、オブザーバーとして、シンガポール、アムステルダム(オランダ)他が予定されています。

16:50-17:00 閉会 : UNIDO

http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/page24_000098.html

A6

首長フォーラム～躍動するアジア都市のグリーン成長

平成 25 年 10 月 20 日（日）13:30～17:00
北九州国際会議場・国際会議室（定員 80 名）
主催：OECD、共同議長：UNCRD、北九州市

アジア地域の首長、OECD 加盟国、国連地域開発センター（UNCRD）の環境にやさしい持続可能な交通ネットワーク（EST）、3R イニシヤティブ、および廃棄物管理の拡大のための国際パートナーシップ（IPLA）メンバー国からの首長も交え、都市のグリーン成長を実現するための政策枠組みや手段について議論します。都市毎にグリーン成長のための条件と課題は異なりますが、知識の共有と多様な取組みの学習を通じて、各都市が独自のグリーン成長戦略を追求、作成できるようになることを目指します。

1. フォーラム・プログラム

13:30-13:45 共同議長 歓迎挨拶

玉木林太郎（OECD 事務次長）、Mr. Hongbo Wu（国連経済社会問題担当事務次長）（予定）
北橋健治（北九州市長）

13:45-14:35 円卓会議Ⅰ:アジアの都市のためのグリーン成長の政策枠組み

急速な都市化が進行する中で炭素集約的な開発を回避し、環境問題が経済成長を阻害することのないよう、様々な条件を兼ね備える都市の政策のあり方や経験を共有します。特に、土地利用と交通、廃棄物、上水、下水、エネルギーと自然災害に対する脆弱性について議論します。

14:35-15:25 円卓会議Ⅱ:都市のグリーン成長政策を実施する上での主な課題

都市のグリーン成長政策を実施する上での主な課題、及び課題克服への方策を討議します。特に、政策立案者や市民レベルの環境問題に対する認識、グリーン成長コンセプトへの理解、資源効率性、3R、グリーン成長のための環境にやさしい持続可能な交通ネットワーク（EST）等の役割、財政余力や資金メカニズム、グリーン成長戦略の企画立案・実行能力を中心に意見交換します。

15:25-15:55 休憩

15:55-16:45 円卓会議Ⅲ: 知見の共有と協調行動

都市のグリーン成長を促進するためには、都市、政策実施機関、様々なネットワークが対等な立場で成果を共有し、共同学習するプロセスを促進することが効果的です。このために共同ワークショップや相互学習、地域ネットワークを通じた交流が必要です。この認識の下、効果的なアクションについて議論を深めます。※KITA 古野理事長発言予定

16:45-17:00 共同議長による総括

玉木林太郎（OECD 事務次長）、Mr. Hongbo Wu（国連経済社会問題担当事務次長）（予定）、
北橋健治（北九州市長）

<招待予定者（都市名のみ記載）>

プノンペン(カンボジア)、アーメダバード(インド)、ジャカルタ、スラバヤ(インドネシア)、横浜市、川崎市(日本)、ピエンチャン(ラオス)、ジョホールバル(マレーシア)、ヤンゴン(ミャンマー)、マニラ(フィリピン)、ストックホルム(スウェーデン)、バンコク(タイ)、シカゴ(アメリカ)、ハイフォン、ホーチミン(ベトナム)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/page24_000098.html

A7 A8

アジア太平洋 RCE 地域会議

(主催：国連大学高等研究所)

平成 25 年 10 月 20 日 (日) 13:00～17:00、 西日本工業大学・小倉キャンパス

アジア太平洋 RCE 地域会議開催記念「持続可能なライフスタイルに関する国際シンポジウム」

(主催：RCE 北九州 (北九州 ESD 協議会・北九州市))

平成 25 年 10 月 21 日 (月) 13:30～17:00、 北九州国際会議場・メインホール

2002 年のヨハネスブルグ・サミットで日本政府が提案し、現在、国連の取組みとして実施している「持続可能な開発のための教育 (ESD) の 10 年」(2005～2014 年)の最終年会合が 2014 年 11 月に日本で開催されることが決定し、国全体で盛り上げていくこととされている。

その一環として市制 50 周年である今年に本市で、国連大学高等研究所主催のアジア太平洋 RCE 会議を行う。当会議では、アジア太平洋地域の RCE (ESD 推進の地域拠点) が結集し、多様な分野の取組みや拠点同士の連携の強化により、ESD (持続可能な開発のための教育) のさらなる推進を目指す。

この機会を活かして、世界の環境首都及び環境未来都市としてのこれまでの ESD 活動や環境における様々な取組み、そしてこれらの原動力となる「市民環境力」の結集と産学官民の垣根を越えたパートナーシップを、アジア太平洋の国々をはじめ世界に発信する。また同会議の開催を記念した公開国際シンポジウムを開催し、一般市民への普及啓発を図る。

1. プログラム

20 日(日) 第 6 回アジア太平洋 RCE 地域会議 (50 名程度参加)

13:00 【開会】挨拶 (各 5 分間)

- ・国連大学高等研究所挨拶 竹本和彦プログラムディレクター
 - ・北九州 ESD 協議会挨拶 寺坂カタエ代表
 - ・北九州市挨拶 北橋健治市長 ※挨拶後、市長退席(OECD 会議出席のため)
- RCE 北九州紹介 北九州 ESD 協議会副代表 三隅 佳子
前回会議の振り返りと議題確認、開会パフォーマンス

14:00 【セッション1 全体会】グローバル RCE ネットワークの動向・RCE 連携プロジェクトの紹介

15:15 【セッション2 テーマ別分科会】学校、ユース、生物多様性、コミュニティ、防災

17:00 【終了】

21 日(月) 持続可能なライフスタイルに関する国際シンポジウム (500 名参加)

13:30 【開会式】パフォーマンス 私立幼稚園連盟 (こみね幼稚園) マーチングバンド
挨拶 (各 5 分間)

- ・北九州 ESD 協議会挨拶 寺坂 カタエ代表
- ・北九州市挨拶 北橋 健治市長、 環境省挨拶 (出席者調整中)

13:50 【基調講演】竹本和彦氏

14:10 【事例発表】アジア太平洋 RCE の 6 地域による

15:40 【パネルディスカッション】アンワールサイド氏 (UNESCO ジャカルタ)、パクウンギョン氏 (韓国 ESD 委員長)、阿部治氏 (立教大学教授)、三隅副代表

17:00 【終了】

21 日(月) フェアウェルパーティ(100 名程度) ※アジア太平洋 RCE 地域会議出席者、北九州 ESD 協議会参加団体

17:30 【開会】挨拶（各 5 分間）

- ・北九州 ESD 協議会挨拶 寺坂 カタエ代表
- ・北九州市挨拶 北橋 健治市長
- ・乾杯挨拶 北九州市立大学近藤倫明学長

17:45～【食事&パフォーマンス】

19:30 【終了】

2. 参加者

アジア太平洋の RCE 地域から、大学、行政、NPO 関係者など、国内も含め 100 名程度

※参加国：海外（インド、インドネシア、韓国、フィリピン、キルギスタン、マレーシア、中国）の約 30 名

※国内（仙台広域圏、横浜、中部、兵庫・神戸、岡山）

<http://2013aprce.com/>